

## 「鉄筋コンクリート造事務所」課題ループリック評価表

図面名	断面図	出席番号	氏名	
No.	評価観点	評価尺度		
		評価 A ( 点 )	評価 B ( 点 )	評価 C ( 点 )
1	平面図からの下書き線	平面図を用紙の上部に貼って、通り芯や開口部の位置を下書き線で断面図に引き下ろして整合性を確認しながら作図ができています。	平面図を用紙の上部に貼って、通り芯や開口部の位置を下書き線で断面図に引き下ろして作図しているが、整合性が不十分な箇所がある。	平面図を用紙の上部に貼らずに、お手本の断面図の寸法を測りながら作図している。
2	通り芯、高さ、勾配などの基準線、基準記号	下書き線を極細線で正確に作図した上に、基準記号、基準線（一点鎖線）を細線で丁寧に作図ができています。	下書き線が極細線で正確に作図されていなかったり、基準記号、基準線が不正確、丁寧に欠ける箇所がある。	下書き線が太く目立っている。基準記号、基準線も正確かつ丁寧に作図できていない。
3	断面線（スラブ、壁、梁、開口部、天井等）	下書き線の上から、屋根・壁厚・開口部・床・天井などを極太線（但し、床2本の線は太線）で正確かつ丁寧に作図ができています。	下書き線の上から、屋根・壁厚・開口部・床・天井などを極太線（但し、床2本の線は太線）で正確かつ丁寧に作図できていない箇所がある。	壁厚・開口部の高さ・天井高などが極太線（但し、床2本の線は太線）で正確かつ丁寧に作図されていない。
4	柱・梁、建具等の見えがかり	家具・建具等の見えがかり線が細線で正確かつ丁寧に作図ができています。	家具・建具等の見えがかり線が細線で正確かつ丁寧に作図できていない箇所がある。	家具・建具等の見えがかり線が細線で正確かつ丁寧に作図できていない。
5	室名・寸法等	寸法等の線の使い分けや、文字が下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっている	寸法等の線の使い分けや、文字が下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっていない箇所がある。	寸法等の線の使い分けができておらず、文字に下書きの字幅線を引いて丁寧にわかりやすい記載になっていない。
6	課題全体の完成度	全体のレイアウトが良く、用紙の汚れもなく、紙面全体が美しく仕上げられている。	全体のレイアウトが片方に寄っていたり、部分的に汚れており、美しさへの配慮が不足している。	全体のレイアウトが悪く、用紙の汚れが目立ち、美しさへの配慮が明らかに欠けている。
小計				
備考				合計